

平成29年度 第1号



20～30万年に1秒しかずれない原子時計は、高い性能の一次周波数標準器によって随時較正されている。一次周波数標準器は1500万年に1秒の誤差という高性能。日本標準時はここ東京都小金井市でつくられ、供給されている。

■ 目次 ■

巻頭言 着任のご挨拶 (1)

平成29年度北多摩東地区保護司会定期総会 (2)

春の叙勲受章者 藍綬褒章 (3)

会長就任にあたり (3)

第67回 社会を明るくする運動 (4)

ぶんくトピックス 多摩連情報 (5)

ぶんくトピックス (6)

BBS会 (6)

地域別定例研修 (7)

活動を振り返って (7)

桐友会だより (7)

市の体育館 (8)

退任保護司紹介・新広報部員紹介 (8)

編集後記 (8)

この度、ご縁があり立川支部管内の更生保護関係者の皆様とご一緒に仕事をさせていただくことになりました。どうぞよろしく願います。

立川支部には平成22年、23年の2年間統括保護観察官として勤務した経験があり、再び当地で仕事をさせていただけることに感謝し、気持ちを新たに業務に取り組んでまいりたいと思いますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、更生保護制度の基本法である更生保護法が施行されて、まもなく10年目になりますが、今日の更生保護の情勢をみますと、更生保護を取り巻く環境は大きくはこの10年間、めまぐるしい変化をしてきました。法施行により更生保護が再犯防止を目的とすることが明示され、遵守事項の明確化や生活環境調整の充実強化、専門的処遇プログラムの導入、就労支援事業、自立準備ホームによる住居確保、特別調整の実施、昨年6月には刑の一部執行猶予制度が施行され薬物処遇強化が図られるなど、着実な進展とともに、ことを実感しています。



着任のご挨拶
東京保護観察所立川支部長
前川 洋

昨年末には、「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立・施行され、犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進すること等による再犯の防止等が犯罪対策において重要であることに鑑み、再犯の防止等に関する施策に関し国及び地方公共団体の責務を明らかにした基本理念等が定められました。地域の再犯防止のためには、国の行う施策とともに、地域の状況に応じた地方公共団体の取組が有効であると考えられます。今後は更生保護関係者の皆様方のご協力を得ながら、地方公共団体との連携にも一層取り組んでまいりたいと考えております。

ともあれ、立川支部の更生保護のこれまでの良き伝統・実績を大切に、管内更生保護事業の充実発展に向けて微力ながら力を尽くす所存ですので、皆様方の温かいお力添えをお願いします。

平成29年度

北多摩東地区保護司会定期総会



北多摩東地区保護司会定期総会が平成29年4月26日武蔵野スイングホールで開催されました。総会には、会員95名と来賓9名事務局9名の出席がありました。須崎英夫会長より、ご来賓

への感謝の挨拶と東京保護観察所立川支部総括保護監察官山田保様からご挨拶を頂きました。

総会は、議長田中久美子(国分寺)副議長千本木勘博(小金井)書記荻野由里佳を選出し、次の通り議事進行し、原案どおり可決承認されました。平成28年度活動報告を小山茂副会長、平成28年度収支決算並びに特別会計収支決算の認定を松村久子会計理事、監査報告を峯岸桂一監事が各々報告しました。次に、役員改選では、新会長に星野直治(三鷹)氏

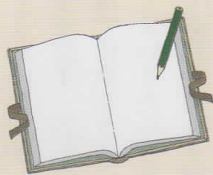
が選出されました。新理事を前に星野会長より就任と抱負の挨拶がありました。平成29年度活動計画(案)は星野会長、平成29年度収支予算(案)

は清水勉会計理事より各々説明がありました。

来賓の津端修三鷹市副市長と四市の市議会議員を代表して後藤貴光三鷹市議会議員から祝辞を頂きました。来賓紹介・祝電の披露が大矢照男副会長からあり、森田忠男副会長の閉会の言葉で総会は無事終了しました。

懇親会は新総務部長の司会で、北多摩東桐友会代表世話人山代法道様の乾杯挨拶で始まり、和やかなうちに、岡田英一副会長の中締めのお言葉をもってお開きとなりました。

(総務部長 須藤 利一)



北多摩東地区保護司会役員

任期…平成29年定期総会(4月)

～平成31年(4月)

役職	氏名	分区分
会長	星野 直治	(三鷹)
副会長	小美濃晃子	(武蔵野)
副会長	岡田 英一	(三鷹)
副会長	小山 茂	(小金井)
副会長	田中 良人	(国分寺)
会計理事	清水 勉	(小金井)
会計理事	田中久美子	(国分寺)
理事	村雲 祐一	(武蔵野)
理事	山崎 祐子	(武蔵野)
理事	宮下みさ子	(武蔵野)
理事	林 邦子	(三鷹)
理事	松村 久子	(三鷹)
理事	須藤 利一	(三鷹)
理事	千本木勘博	(小金井)
理事	小川 和男	(小金井)
理事	和地 誠一	(国分寺)
理事	尾崎 幸信	(国分寺)
監事	茂木 巖	(武蔵野)
監事	真壁 敦子	(三鷹)
総務部長	須藤 利一	(三鷹)
研修部長	尾崎 幸信	(国分寺)
地域活動部長	千本木勘博	(小金井)
広告部長	山崎 祐子	(武蔵野)

(注)副会長は分区分長を兼務

平成29年度 春の叙勲受章者 藍綬褒章

国分寺分区 森田忠男氏

森田忠男氏（国分寺分区）が、藍綬褒章を受章されました。森田氏は、平成元年5月保護司を拝命、平成23年9月に法務大臣表彰を受章。多くのケースを担当し活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。



- 平成5年 東京保護司会連盟会長表彰
- （現・東京保護司会連合会会長表彰）
- 平成7年 東京保護観察所長表彰
- 平成10年 関東地方保護司連盟会長表彰
- 平成14年 関東地方更生保護委員会委員長表彰
- 平成21年 全国保護司連盟会長表彰
- （現・全国保護司連盟理事長表彰）
- 平成23年 法務大臣表彰

武蔵野分区 吉野恵夫氏

吉野恵夫氏（武蔵野分区）が、藍綬褒章を受章されました。吉野氏は、平成3年5月保護司を拝命、平成26年10月に法務大臣表彰を受章。多くのケースを担当し活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。



- 平成7年 東京保護司会連盟会長表彰
- （現・東京保護司会連合会会長表彰）
- 平成9年 東京保護観察所長表彰
- 平成12年 関東地方保護司連盟会長表彰
- 平成15年 関東地方更生保護委員会委員長表彰
- 平成23年 全国保護司連盟会長表彰
- （現・全国保護司連盟理事長表彰）
- 平成26年 法務大臣表彰

会長就任にあたり

星野 直治



私は今年の4月より北多摩東地区保護司会の会長に就任いたしました。

引き受けた以上は保護司会に迷惑をおかけしないようにいきたいと考えております。とはいっても会長職の負担は非常に大きく、今まで会長を務めて来られた皆様に頭の下がる思いです。

さて、保護司の務めに更生保護があります。「社会を明るくする運動」もその一つです。私共保護司だけの力では限られており、地域の人達、市民の方々と一つになつて明るい社会づくりをしなければならぬと考えております。保護司としての一人ひとりの活動と更生保護活動が加わり、保護司には今大変な負担が課せら

れております。これから新任の保護司を探す際にある程度の活動内容を知らせるかどうかが思案のしどころであります。

仕事をされている方が多いなか、現在の保護司の皆さんが各区の定例会や北東の理事会、研修会等にも都合をつけて出席されていることに心より感謝しております。出席された皆さんが協力くださり、意義深い会になることを願っています。課題も多いなかで議論を重ねても誰かが発言できるような北多摩東地区保護司会にしていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



第67回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

桜祭りに参加して



さわやかな風薫る卯月の第一日曜日、武蔵野市桜祭りに受刑者が製作した品の即売会を兼ねて社会を明るくする運動を行いました。

市民の方々との交流の中で、挨拶や話し方伝え方に気遣いが必要であると改めて感じる一日でした。(青山真市郎)

三鷹分区

7月5日(水)16時より社会を明るくする運動の広報活動が三鷹駅南口で行われました。

猛暑の中、清原慶子三鷹市長をはじめ、三鷹警察署長、各関係団体の皆様、第一中学校・第二中学



校・第四中学校の生徒たち24名、保護司19名が参加し、皆様がタスキをかけ、のほりを上げ、リーフレットとウエットティッシュを配ってアピールしました。(大野寿美子)

小金井分区

1. 駅頭広報活動

7月3日、16時半より武蔵小金井駅、東小金井駅において、市民の方に、啓発ティッシュを配り、犯罪や非行のない社会を築くための呼びかけを行いました。

市長をはじめ、市内の中



学生(参加校5校)や、校長先生、ボランティアの参加があり無事に終了しました。

2. 子ども映画会広報活動



7月21日、午後2時より中央大学附属高校講堂において「ペット」の上映会を行いました。小金井分区では受付や場内整備、広報活動を行いました。

今回は、市内の親子等を含め1100名余りの参加をいただき、無事に終了しました。

3. 「小金井阿波おどり」広報活動

7月22日、23日「第39回阿波踊り」が開催されました。約5万人の観客が見守るなか、延べ46の連が参加し、小金井分



区では「竹うちわ」1200枚を配布し広報活動を行いました。(渡辺、卓利)

国分寺分区

ひまわり畑に子供たちを

国分寺市、社会を明るくする運動「ひまわり畑」の子どもたちの参加は保育園児がひまわり迷路に訪れることが大半でした。ひまわりコンサートでは小中学生が主体で参加しています。

ひまわり畑にも小学生が参加できないか当時の森田前分区長と相談し、ひまわり畑近隣の国分寺市立第五小学校へお話をすることにしました。前分区長は第五小学校には何かと縁があり、副校長に相談して頂いたところ前向きに検討すると回答を頂きその後学校内で検討し実現いたしました。種まき当日は種まき日和のお天気で3年生の児童60名と引率の担任の先生2名、それに副校長にも来て頂き、総勢、63名です。



(田中 良人)

はじめにひまわり畑地主、森田林三様に一言と注意事項をいただき、また、社会を明るくする運動推進委員会として挨拶と種の蒔き方の指導を私の方で話をしました。そして種まきが始まり、子どもたちの間に推進委員の会員が入り順調に進み、無事に種まきが終了いたしました。

第五小学校から良い機会を頂いたと感謝とお礼の言葉があり、推進委員会からも子どもたちと一緒に種まきが出来たことに喜びの声が上がりました。

7月23日にひまわり畑迷路の準備も終わり保育園児の招待のほか、今年から一般市民への開放も始まり大変楽しみです。

多摩連情報

●平成29年度理事会を開催

多摩連理事会を5月23日(火)に開催、各地区から今年度理事約70名が参集しました。

同理事会においては、これに先立ち4月17日に行われた新旧常任理事会の席上で選考された新役員案が承認され、次のとおり決定しました。

会長

野崎 重弥 (北多摩北地区会長)

副会長・総務部長

安西 清 (日野・多摩・稲城地区会長)

副会長・研修部長

粕谷 勝榮 (北多摩西地区会長)

副会長・地域活動部長

鴨志田守久 (調布・狛江地区会長)

副会長・広報部長

谷合 隆一 (府中地区会長)

監事

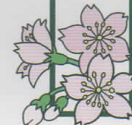
岸野 穂 (西多摩地区)

山田 拓男 (北多摩西地区)

この他、平成28年度の事業報告・収支決算報告、29年度の事業計画・収支予算、分担金額変更、規約規程改正の審議・承認が行われ、新役員のもと新年度の活動が本格的にスタートしました。

ぶんくつピックス

小金井分区



静岡刑務所を視察して

6月5日(月) 雄大な富士山の眺めを期待しながら高速道路を通り、静岡刑務所を視察しました。

明治3年に未決因獄舎として設置され、明治11年2月に静岡監獄署と改称、大正11年10月に静岡刑務所となりました。明治26年3月駿府城内に移転、昭和42年8月に広々とした現在地にできました。

犯罪傾向の軽い受刑者の男子のみが60名収容され、外国人が約1割います。また未決拘禁者を含め、全部で710名位収容されています。

刑期が5年未満の人が7割で、外国人や高齢者、覚せい剤犯が増加しているとのことでした。

平成22年度から、総務・警備の仕事の一部と、職業訓練、改善指導、教科指導を民間事業者に委託しています。受刑者の個々にあった技術や教育、就労支援の充実が図られるようになりました。

現在刑務官200名、民間人が100名

程度働いています。女性刑務官も採用され、拘留所など適材適所に配置されています。

今回の視察では、特に受刑者の特性に合った改善更生・社会復帰への取組がなされていると思えました。

(宅島 正孝)



国分寺分区



手作り石鹸で社明活動をアピール

今年度から「市民活動フェスティバル」という市のイベントに参加することになりました。『社

会を明るくする運動』のテントで、

は刑務作業品を販売する傍らで、



ひまわりの種と一緒に杜明のリーフレットを添えて配布し、テントの一角では机を置いて子供たちに手作り石鹼

を作るコーナーを設けました。保護司会と更女の方が中心になり、子どもたちと石鹼を捏ね、クッキーの型での抜きハートや星形のかわいい石鹼は子どもたちに大人気で順番待ちの行列になるほどの盛況ぶりでした。保護者の方々は待っている間に杜明のリーフレットも手渡すこともでき、良いPRもできました。

(林 博行)

武蔵野分区



栃木刑務所視察

6月2日(金) 栃木刑務所を視察しました。全国に10か所ある女子刑務所の中で最大の施設です。入所者は659名(外国人168名)、外

国人は37か国、25か国語で、タイ、フィリピン、メキシコが多く、年齢は20〜30代、罪名は覚せい剤、窃盗の人が多いそうです。



規則正しい生活習慣、健全な考え方の付与、薬物依存離脱等を目的とした改善指導を実施しているとのこと。

職業訓練のなかに美容課があり、美容師免許、エステの資格がとれるとのこと、刑務所の中の庭にはバラの花が美しく咲いており、食堂のテーブルもきれいに並べられ、雰囲気がとてもなごやかに感じられました。

(中村 扶佐子)

三鷹分区



5月16〜17日、管外研修で長野県安曇野市にある有明高原寮の視察に行った。かつて戦争孤児たち

がたくましく生きる姿を描いたドラマ「鐘の鳴る丘」のモデルとなった更生施設で、戦前温泉旅館であった建物を国が青少年の更生施設として利用していたが、老朽化により取り壊しとなるとところを旧穂高町が譲り受け、現在は集会所として使われており、すぐ近くに現在の施設がある。比較的不良傾向の進んでいない少年が収容されていて、鉄格子などに囲まれていない開放的な施設で、平均収容期間は4〜5か月程度である。現在の収容人数は、3人であった。有明高原寮を出院した少年の、更生率は80パーセント以上だという。

どこの施設もこのような施設になることを願わずにはいられない。(笠岡 展子)



BBS会

BBS会会長 町田 唯香

BBS会とは、全国に地区会を持つ、少年にとってお兄さんやお姉さんのような存在になり共に悩み、学び楽しもうという学生のボランティア団体です。そのなかでも北多摩東BBS会では、小学生を対象としたレクボランティアや中学生を対象とした学習ボランティア、そして更生保護施設紫翠苑の学生さんとのグループワーク等、少年の健全育成に関わるような活動を中心として行っています。また、法務省主催の「社会を明るくする運動」のお手伝いもさせていただいております。非行を防止していただいた人の社会復帰を温かく見守ろうというこの運動ですが、学生の私たちにできることは少ないのかもしれませんが。しかし、少しでも力になれるよう、活動をしていきたいと思います。



地域別定例研修

平成29年度 第I期地域別定例研修
「提出書類の書きかたについて」

〔保護観察編〕

今年度第I期地域別定例研修が6月20日(火) 武蔵野スイングホールで、6月23日(金) 国分寺本町・南町地域センターで、開催され出席者は総計76名でした。

北多摩東地区担当の羽田信行保護観察官の講義と事例検討、質疑応答の形で進められました。保護観察を行う上で担当保護司により作成される報告書は非常に重要な役割りを果たします。報告書は保護司と保護観察官をつなぐ架け橋であるとともに対象者に対して適切な処遇や措置、調整を検討するための資料となります。

保護観察官経過報告書(甲)とは毎月担当保護司が保護観察対象者に対して行った指導監督及び補導援護の内容等を保護観察所の長に報告する文書です。対象者の現況を知ることにより、措置処遇を検討する書類です。報告書の提出枚数は一枚、翌月5日までに提出願います。

再犯を防ぐため遵守事項を守らせるには生活行動指針を立て、同種再犯を繰り返さないため加害者として、贖罪プログラムを行うが、お互いの信頼関係がないと行えないそうです。作成及び提出の際のポイントとして参考資料の記載例に従ってアドバイスをいただきました。改めて心して書類に記さなければと拝聴いたしました。

〈研修のお知らせ〉

第II期地域別定例研修

- ・武蔵野・三鷹 11月14日(火) 武蔵野スイングホール
- ・小金井・国分寺 11月13日(月) 国分寺本町・南町センター

SST自主研修 11月24日(金)

武蔵野スイング・レインボーサロンの詳細は別途ご案内します。

(研修部長 尾崎 幸信)

活動を振り返って

北多摩東地区更生保護女性会

会長 立川 八重子

保護司会の皆様には更生保護女性会に日頃よりご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

昨年の11月25日東京更生保護女性連盟結成60周年記念式典が明治



座において行われました。当日は、来賓125名、会員参加者等合わせて1380名の参加があり、盛大に挙行されました。ご

来賓の皆様より心温まる祝辞を頂き、改めて更生保護女性会の歴史の重みを感じました。記念すべき60周年の年に携わることができましたことは、大変嬉しく、すばらしい経験をさせていただきました。

また、北多摩東地区更生保護女性会は、関東地方更生保護女性連盟の「ミニ集会」の指定を受け、一年間取り組んできました。実施により、参加者から好評を頂き、会員の結束も深まったように思います。また、情報の共有により犯罪予防に繋がる「ミニ集会」は、更女性の活動に不可欠であります。今後継続されることを願っています。

桐友会だより

山代 法道



平成29年度の北多摩東桐友会の総会は、6月23日武

蔵野市内において開催されました。

総会には、北多摩東地区保護司会から新しく就任された星野直治会長をはじめ4市から副会長(分区分長)また、地区更生保護女性会から池谷敏子副会長にご出席をいただき皆様からご祝詞を賜りました。内容は例年どおり事業・決算報告、29年度の事業計画・予算書(案)の審議でした。事業内容は保護司会の実施する行事へ参加するほか、武蔵野分区分区および小金井分区分区において、それぞれ懇談会を開催しました。

総会への出席者は、会員27名中13名でした。当日は役員改選が行われ、世話人は全員再任、また規約の改正により代表者は会長名になりました。

東京桐友会理事会在が6月23日に開催され、年間事業の内容「会員の集い」のあり方等について意見が提出され、今後の検討となりました。

第36回「東京桐友会の集い」

日時 9月6日(木) 10時30分
開場 アルカディア市ヶ谷



年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

平成二十九年九月一日発行

三鷹市「SUBARU 総合スポーツセンター」

平成 29 年 4 月にオープンした総合スポーツセンター。(写真は地下 2 階のメインアリーナ) 各種ス



ポーツやトレーニングなどの設備も併設され、健康・スポーツ推進の拠点です。

武蔵野市「武蔵野市総合体育館」

平成元年 11 月に陸上競技場、市民プールとも併せ複合的なスポーツ施設として設立。その後、ストリートスポー



ツ愛好者のコミュニティ形成と青少年の健全な育成を目的として、平成 14 年 4 月ストリートスポーツ広場 (写真) を開設しました。

体育館

国分寺市「国分寺市民スポーツセンター」

昭和 60 年に元農林水産省家畜試験場跡地に「けやき公園」と「都立小平南高校」に挟まれるようにして完成



しました。シャワールームを備えた体育館とエアロバイクやウェイトトレーニングができるジム、そして大小二つの会議室を備えます。

小金井市「小金井市総合体育館」

平成元年 4 月に市民のスポーツ・レクリエーションの拠点として市民の健康保持・増進と市民相互のふ



れあいの場として建設されました。

退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気でご活躍下さいますよう祈念申し上げます。

吉野 恵夫氏 (武蔵野分区)

平成 29 年 5 月 14 日 (在職 26 年)

新広報部員紹介

- 部長 山崎 祐子 (武蔵野)
- 副部長 三橋 優子 (三鷹)
- 会計 宮崎 邦子 (国分寺)
- 幹事 望月加奈子 (武蔵野)
- 幹事 阿部 勉 (三鷹)
- 幹事 信山 勝由 (小金井)
- 幹事 水野 瑠美 (国分寺)
- 幹事 大久保良子 (武蔵野)
- 幹事 木川 憲子 (武蔵野)
- 幹事 吉野 武 (三鷹)
- 幹事 渡辺 卓利 (小金井)
- 幹事 小山 直子 (小金井)
- 幹事 林 博行 (国分寺)

編集後記

新部長を迎え、会報 (第 126 号) が無事発行できるのは、皆様方の支えがあつてこそと実感しております。皆様に伝えやすく、読みやすくするように日々頑張っているところです。今後も皆様のご意見、ご提案をいただき、次号に反映していきたいと考えております。ご寄稿いただきました皆様には、部員一同からお礼申し上げます。

広報部員一同



発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 山崎 祐子 電話〇四三二(二二)二四〇七